

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	永井隆広
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3335
<b>事務事業名</b>	5858 特定健康診査事業											
<b>所 属</b>	100600 健康福祉部・健康づくり課											
<b>施 策</b>	11010200 地域医療を支える体制づくり											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	11 国民健康保険特別会計										
	<b>科目</b>	040201 保健事業費・特定健康診査等事業費・特定健康診査等事業費										
	<b>事業</b>	010100 特定健康診査等事業・特定健康診査事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
将来的な医療費の削減を目指す。						平成20年度から40歳以上の被保険者を対象に、内臓脂肪型肥満に着目した特定健康診査・特定保健指導が保険者に義務付けとなり、メタボリックシンドローム該当者及び予備軍を減少させるための特定保健指導が必要となる人を抽出するために健診を実施する。 令和2年度より、新型コロナの影響により、予約制を導入、健診時間が延長となり、徴収員の時間数増加						

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 予定</b>
受診率48.2%	受診率60%
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	特定健診の年間受診率				
算式	健診受信者／40歳以上の被保険者				単位 %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	第三期特健等計画が30年度末で60%を目指しているため				
最終年度目標の根拠	国掲示値が30年度末で60%であるため				
指標名					
算式					単位 %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位 %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		26,791	35,371
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	17,293
	地方債	0	0
	その他	0	2,100
一般財源		26,791	15,978
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	嘱託職員	0.1	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,787.2	2,787.2
	嘱託職員	314.9	629.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,102.1	3,417.0
市民一人当たりの経費		0.6	0.7
総額		29,893.1	38,788.0

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	87	消耗品費 34 印刷製本費 52
12節 委託費	26,517	その他委託料 26,517
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	187	報酬48 役務費 138 ほか1

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	121	消耗品費 68 印刷製本費 53
12節 委託費	34,958	健診等委託料 34,000 データ管理委託 958
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	292	報酬 86 旅費 3 役務費 200 使用料及び賃借料 3ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	高齢者医療確保法に基づき保険者に義務付けられた健診である。毎年特定健診を受けて、自分の健康状態を知り、生活習慣病の予防に対する取組のため必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	コロナ禍ではあるが、受診率は前年並みであった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	国・県の補助対象事業	

振り返り（決算年度の取組み課題）
新型コロナウイルス感染拡大での受診対応が課題

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

新型コロナの影響により、予約制を導入。特定健診を受診し、その結果から特定保健指導につなげている。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

生活習慣病の発症予防、重症化予防に継続して取り組む  
受診率60%を目指さす

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--